

平成 30 年度 アセンブリⅡ プロジェクト申請書

プロジェクト	スペシャルオリンピックス ”バドミントン”
主な活動場所	<input type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 病院内 <input checked="" type="checkbox"/> 学外
担 当 教 員	[所属・氏名] <u>医療科学部・先進診断システム探求 毛利 彰宏</u>
内 容	[プロジェクトの概要] スペシャルオリンピックス(SO)は知的障害のある人たちにいろいろなスポーツトレーニングとその成果発表の場である競技会を年間通して提供している。バドミントン競技には多くの知的障害があるアスリートが参加をします。これを支援します。多くの社会人、大学生、高校生などがボランティアとして参加し交流します。「分かち合い」の大切さを学びます。
	[具体的な活動内容] 春は5～7月に9回程度開かれます。秋の部もあります。場所は安城市内の小学校体育館の予定です。すべてに参加する必要は無く、事務局と相談しながら、自分の都合がいいときに参加できるようにチームで計画を練ります。
	[活動に参加することで得られるスキル (社会人基礎力)] 「分かち合い」の大切さを学びます。多くの他大学の学生も参加しており交流も生まれます。
	[受け入れチーム数] ※ 5～8名／1チーム <u>1</u> チーム 【プロジェクト全体で <u>6</u> 名】
	[活動を予定している時間帯や日付など]
	[その他]